

普及活動情勢報告（令和5年3月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

今作の振り返りと次年度のユズ増収を目指して！ ～吾北地区新規就農者サポートチームによる現地面談の実施～



3月3日、いの町吾北地区新規就農者サポートチームが新規就農者のユズほ場で今年度の実績をもとに現地面談を行いました。JAからは剪定時期について、農業改良普及課からは誘引方法について助言指導しました。また、他のほ場では排水不良によりユズの生育状況が悪いため、対策について検討しました。

新規就農者からは、農地制度が変わることによる規模拡大時の利用権設定について質問が出されました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携して、ユズの増収による就農計画達成に向けた支援を行っていきます。

ドローン空撮で肥培管理を確認していきます！！ ～来年度のスマート農業の取り組み内容を検討～



2月8日、JA高知県土佐市生姜部会役員8人と、来年度のスマート農業の取り組み内容を検討しました。農業改良普及課からは、今年度のドローン空撮による生育調査の結果を報告しました。

部会員からは、「適正な肥培管理をすることは、労力や経費の削減に繋がる」、「腐りにくい生姜が作れたら、選果時間や廃棄処分代の軽減に繋がる」等の声が挙がっていました。

これまでの生育調査結果と併せて、来年度の調査計画を生産者に示すことで、引き続き調査に協力して貰えることとなりました。

農業改良普及課は、関係機関と連携しながら、今後もスマート農業を推進し、肥培管理等の改善に繋げることで、高品質・安定生産できるよう支援します。

農機の転落・転倒における農作業事故にご注意！ ～土佐市管内のメロン現地検討会で農作業事故防止の呼びかけを実施～



3月9日、土佐市高岡地区と新居地区のメロン2ほ場で現地検討会が開催され、延べ3人の生産者が参加しました。

農業改良普及課からは、農作業事故防止を呼びかけるため2021年の農作業事故による死亡者数やその主因が農機の転落・転倒であることなどを説明しました。

参加者からは、対策として伝えたヘルメットやシートベルトの着用は、ハウス内では梁が低いことから厳しいといった声が出た一方、家族にも注意喚起を促すといった前向きな声も聞かれました。

6月以降は土佐市の主幹品目であるピーマンやキュウリの促成栽培が終了し、農機の使用頻度が高まることから、農業改良普及課は、今後も関係機関と協力し呼びかけを行っていきます。